

令和4年度
教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書
(対象年度 令和3年度)

令和4年11月
朝日町教育委員会

目次

1. 朝日町「教育に関する点検及び評価」について	1
2. 教育委員会の会議及び活動について	2
3. 主な事務事業と評価	
Ⅰ 家庭・地域教育	5
Ⅱ 学校教育	8
Ⅲ 生涯学習	13
Ⅳ スポーツ	18
Ⅴ 文化	23
4. 学識経験者意見	26

1 朝日町「教育に関する点検及び評価」について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、教育委員会では、その教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表する。

2 点検・評価の対象

点検・評価は、令和3年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況を対象として実施した。

3 点検・評価の方法

点検・評価では、主な事業等の取組・進捗状況等により、課題等を分析し、今後の対応等を検討した。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々から、様々なご意見、ご助言をいただいた。

(50音順 敬称略)

氏 名
小澤 政憲
南茂 敬子
水嶋 美津子

【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」抜粋

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務～～略～～の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会の会議及び活動について

1 教育委員会の運営状況

(1) 教育委員等

委員等名簿（教育長 任期3年、委員 任期4年）（令和4年3月31日現在）

職名	氏名	委員就任期間・任期	備考
教育長	木村 博明	R03. 4. 1～R06. 3.31	
教育長職務代理者	河村 智明	H31. 3.24～R05. 3.23	
委員	コケシュ 知子	R01.10.01～R05.09.30	
委員	石坂 博信	R02.10.24～R06.10.23	
委員	澤木 昇	R04. 3.24～R08. 3.23	

(2) 教育委員会の開催状況

朝日町教育委員会は、定例会を毎月1回開催し、必要に応じて臨時会を開催しています。また、令和3度においては、9月にさみさと小学校の学校訪問を実施しました。

①開催回数 定例会12回

②会議に付された主な案件

- ・教育委員会重点施策について
- ・学校評価について
- ・ICT教育について
- ・朝日町型保小中一貫教育について
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について
- ・スクールバスの運行等について

その他、町議会に付議する案件等が会議に付されました。

③会議の開催状況

	出席状況	主な審議内容
4月定例会 (4月23日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度教育委員会事務局及び教育機関の組織について ・令和3年度小中学校学級編成について ・令和3年度小中学校管理職等一覧表について ・朝日町小中学校児童数の推移について ・全国大会等出場選手について ・夏季及び冬季休業の学校閉庁について ・学校訪問について
5月定例会 (5月26日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場選手について ・第68回下新川郡民体育大会について ・令和2年度学校評価について ・6月議会定例会について

6月定例会 (6月23日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年6月議会定例会の所管事項について ・第38回全国ビーチボール競技大会について ・令和3年度学校評価システム推進事業計画について
7月定例会 (7月29日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場選手について ・令和4年度国県予算に対する重要要望事項について ・令和3年度通学路合同点検について ・朝日町型部活動コミュニティクラブのアンケート結果について ・令和4年度使用教科書の採択について
8月定例会 (8月24日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場選手について ・小学校運動会、中学校体育大会等について ・令和3年度朝日町町政功労表彰受彰者について ・警戒レベルステージ3への引き上げに伴う対応について
9月定例会 (9月24日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年9月朝日町議会定例会の所管事項について ・コロナウイルス感染症関連の対応について ・全国大会出場結果について
10月定例会 (10月13日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場選手について ・各種イベントについて ・朝日町型保小中一貫教育について ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の設立について
11月定例会 (11月26日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中一貫教育先進地視察について ・全国大会出場選手について ・不動堂周辺施設構想(案)について ・教育委員会の事務に関する点検及び評価報告書について ・総合教育会議議事録のホームページ掲載について
12月定例会 (12月23日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年12月議会定例会の所管事項について ・全国大会等出場選手について ・令和4年朝日町成人式について ・令和4年度入学期日等の通知について ・朝日町型地域パートナー学校支援モデルに関する規則について
1月定例会 (1月25日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年朝日町成人式の実施報告について ・全国大会等出場結果について ・町民スキー大会、郡民体育大会スキー競技会について ・令和3年度卒業式、令和4年度入学式について ・朝日町型地域パートナー学校支援モデルに関する条例等について ・小学校のコロナウイルス感染症の発生について ・令和5年成人式の日程及び名称について ・朝日町が今後目指していくデジタル教育の方向性 教育DXについて
2月定例会 (2月28日)	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度教育委員会関係予算案について ・令和4年度朝日町教育委員会重点施策について ・条例一部改正等について ・朝日町型地域パートナー学校支援モデルについて

3月定例会 (3月17日)	4名出席	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月議会定例会の所管事項について ・全国大会等出場選手について
3月臨時 (3月24日)	書面決議	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町教育長職務代理者の指名について ・教育委員の席次について

(3)総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、町長と朝日町教育委員会が円滑に意思疎通を図り、朝日町の教育の課題、今後の方向性等を相互に共有し、効果的に教育行政を推進するため、朝日町総合教育会議を開催しました。

【会議の開催状況】

第1回 R3.10.13	全員出席	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日町保小中一貫教育について ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の設立について ・朝日町の健全育成事業について
-----------------	------	--

(4) 研修会等への参加

R3.11.18 令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会

全国の各市町村教育委員会において展開されている地域の実情、特性に応じた施策についての情報・意見の交流がオンラインにより行われました。

(分科会「令和の日本型学校教育」における子どもたちの学びの在り方について)

3 主な事務事業と評価

1 家庭・地域教育

■施策目標

少子化が急速に進む当町にあって、子どもを取りまく環境の変化は著しい。保護者の子育てに対する考えは多様化し、家庭や地域社会の教育力の低下も問題となっている。そこで、子どもの成長を支える基本的な生活習慣を身につけることを推進する。また、地域における人々とのふれあいや豊かで美しい自然を体験するなどの多様な活動を通して、子どもたちの心の豊かさや社会性を育む。

■取組み概要

- ①家庭・地域教育
- ②地域活動への参加

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	就学時健康診断等の機会を利用した家庭教育に関する学習会	新1年生に入学する児童に対して、11月に開催している就学時健診時に、家庭教育に関する学習会を学校と連携して実施しました。	—
	朝日町児童クラブ連合会活動補助 (住民・子ども課主管)	子どもの健やかな心と体を育むため、親子や地域の方々の世代間のふれあいや交流の機会を増やす取組みに対して補助を行っています。 ◆会員数 200人 ◆事業内容 例年おこなっていた、親子ふれあいフェスティバル、子どもビーチ in ASAHI、このゆびとまれ「国立立山青少年自然の家での宿泊学習」、百人一首に挑戦!については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、このゆびとまれ「国立立山青少年自然の家での宿泊学習」のみ実施しました。 ◆指導者研修についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	45
	放課後子ども教室 (住民・子ども課主管)	地域における健やかな子どもの育成及び放課後における児童の安全な居場所づくりの確保とともに、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを図りました。 ◆実施校 あさひ野小学校 ◆実施日数: 6日 ◆参加児童数: 延べ人数 48人	49
	子どもの居場所づくり事業 (住民・子ども課主管)	自治振興会では、多様な形で取り組む自主的な放課後等の子どもの居場所づくり事業を実施しています。 (宮崎地区) 開設日数 112日(4月~3月) ◆登録児童数 18人 延べ人数 422人 (五箇庄地区) 開設日数 120日(4月~3月) ◆登録児童数 14人 延べ人数 1,189人	923

	放課後児童クラブ (住民・子ども課主管)	保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、自主性及び社会性の向上や、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保を目指しました。 (あさひ野っ子放課後児童クラブ) 開催日数 251日 ◆登録児童数 69名 延べ人数 5,466人	8,317
	PTA 連絡協議会活動補助	多様化、複雑化する社会構造の中で、子どもたちの「生きる力」を育み支える PTA 活動を推進するため、町 PTA 連合会が実施する活動に対して補助を行っています。	135
	とやま親学び講座	家庭、地域、学校、行政が協力して「親を学び伝える学習プログラム(親学び)」を推進しています。	-
②	三世代交流事業	豊かな自然・伝統文化に関する学習や地域の人々との交流を通して郷土に誇りを持ち、「朝日町を愛する子ども」を育成するため、各地区公民館にて、世代を超えて地区の伝統芸能の継承や清掃活動などの「三世代交流事業」を実施しています。 ◆9地区公民館	551

■成果と課題

① 就学時健康診断の際に、家庭教育に関する学習会を学校と協力して実施しており、今後とも、子どもの人間形成の基礎を培う家庭の教育力の向上を図っていきます。

児童クラブ連合会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子ふれあいフェスティバルや子どもビーチ in ASAHIなどの事業が中止となりましたが、このゆびとまれ「国立立山青少年自然の家での宿泊学習」については感染症対策を行い実施しました。コロナ禍において、どのように事業を実施していくのかが課題となっています。

「放課後子ども教室」については、放課後における子どもたちの安全な居場所づくり、地域住民との交流のほか、子どもたちが興味をもって学ぶことができる環境づくりを目的として実施してきました。子どもたちはいろいろな体験や交流を通して、心の豊かさや社会性を深めています。なお、感染症拡大防止のため、回数を減らしており、実施日数は6日で、参加児童数は延べ人数で48人でした。今後、コロナ禍での対応を含め、教室のあり方について見直しを検討しています。

地域ぐるみの子育て支援策である「子どもの居場所づくり事業」は、宮崎、五箇庄地区の2地区で、自治振興会が主体となって実施されており、それぞれカルチャーセンターみやざき、五箇庄コミュニティセンター彩の里を放課後等に児童に開放し、地域の方に児童の遊びを見守る世話人となっていただき、放課後の児童の居場所を確保しています。

「あさひ野っ子放課後児童クラブ」あさひ野小学校校下で保護者が昼間家庭にいない児童を対象に、放課後における児童の安全な居場所づくりの確保や自主性及び社会性の向上を目的とし実施しており、あさひ野小学校のミーティングルーム等を利用し、児童は宿題をしたり自由に遊んだり、「さんさんタイム」としてスポーツ、将棋、工作教室などを週一回程度行っています。

なお、「児童クラブ連合会」、「放課後子ども教室」、「子どもの居場所づくり事業」及び「放課後児童クラブ」については、住民・子ども課が主管となって事業を実施

しており、今後とも住民・子ども課との連携を図り、児童生徒の健全育成に努めていきます。

町PTA連絡協議会では、町内の小・中・高校合同による「朝日地区さわやか運動」、「ふるさとの大クリーン作戦」などを実施しており、今後とも補助を行っていきます。

親学び講座は平成25年度から県がとやま親学び推進協議会を設置し、各市町村にとやま親学び推進リーダーやスーパーリーダーも配置されています。

- ② 「三世代交流事業」については、各地区公民館で地域の伝統芸能の伝承を通して子どもから高齢者までの特色ある世代間交流を行っており、今後とも取り組んでいきます。

II 学校教育

■施策目標

学校教育においては、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成とともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得や、思考力・判断力・表現力の育成及び学習意欲の向上が重要であることから各学校においてはこれらを総合的に育むと同時に、児童生徒、保護者、地域の期待に応えることのできる学校を目指し、開かれた学校づくりを推進していく。

■取り組み概要

- ①学校施設等の整備・充実及び安全対策の実施
- ②就学援助の充実
- ③特色ある学校づくりと創意ある教育課程の展開
- ④児童・生徒の健康及び安全の充実
- ⑤教育研究の推進及び教職員研修の充実
- ⑥コロナ対策

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	学校施設整備補修事業	児童生徒の安全を第一とし、校舎の修繕をはじめ、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、児童生徒が楽しく、安心して学校生活を送れるよう施設設備の安全管理に努めました。 ◆小学校：2校 49件 ◆中学校：1校 18件	7,737 2,217
	学校管理・教材教具整備事業	管理用備品・教材用備品・特別支援学級用備品・給食用備品・健康管理備品等の整備 ◆小学校 ◆中学校	7,409 9,528
	電子黒板の導入	電子黒板8台を小中学校に導入しました。 ◆小学校 5台 ◆中学校 3台	(小) 1,883 (中) 1,138
	スクールバス運行事業	◆小学校：中型バス 2台 マイクロバス 4台 ◆中学校：マイクロバス 1台 ※冬期はマイクロバス2台を追加	15,015 4,620
	準要保護児童生徒就学援助 特別支援教育就学奨励	教育機会の確保を図るため、就学が困難な児童生徒の保護者に対して必要な援助を実施しました。 ◆令和2年度： 援助費 小30名 中26名 奨励費 小9名 中3名 入学前支給 小1名 中8名	小：793 中：1,943
②	加藤・森島奨学金給付	高校生及び大学生への奨学資金制度の有意義な運用に努め、将来地域を担う人材の育成を図りました。 ◆令和2年度：高校生5名、大学生等3名	1,020

	小中学校給食費無償化	町内の小中学校に通う児童生徒の給食費を無償化しました。	小：19,841 中：13,273
	体操服支援事業	子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に対する支援を通じて、子育て世帯の負担軽減を図りました。 ◆あさひ野小学校新1年生 16人 さみさと小学校新1年生 48人	939
	地域講師活用事業	地域の人材を講師に招聘して、将棋等クラブ活動の充実や地域講師を招聘して総合的な学習の時間や生活科の時間、いのちの授業等の充実を図りました。 ◆令和3年度：地域講師 あさひ野小：いのちの授業、地域講師 さみさと小：いのちの授業、クラブ活動 朝日中：性指導、合唱コンクール審査員、	小学校 20 中学校 30
③	学力向上市町村教育委員会 プラン研究委託事業	平成19年度に策定された「とやま型学力向上プログラム」を踏まえ、「確かな学力」の育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果の普及を図りました。 実施校：あさひ野小、朝日中	184
	観察実験アシスタント派遣 事業	小学校の理科の観察・実験を支援する補助員の派遣	327
	小学校英語活動推進事業	英語教育非常勤講師の配置 (あさひ野小学校、さみさと小学校)	1,335
	外国青年招致事業	外国語指導助手(ALT)の配置	6,044
	14歳の挑戦事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	0
	中高連携交流推進事業	泊高校閉校に伴い閉校記念ショートムービー(2本)を制作し、最後となる教育講演会を実施しました。	1,457
	小中連携事業	◆小中連携教育推進委員会…3回 ガイドラインの作成、学校行事の見直し、小学校間の連携、小中学校間の連携、ふるさと学習、学力向上について協議しました。	—
	スポーツエキスパート派遣 事業	部活動においてスポーツエキスパート事業を活用して、顧問と指導者が連携を図りながらスポーツの専門的な技術指導を行いました。 ◆指導者：5名 朝日中学校：バスケットボール、バドミントン、 陸上競技、卓球、バレーボール	204
	スタディ・メイト配置事業	特別支援スタディ・メイトの配置を図りながら、特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備して、個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。	小：8,773 中：1,660

	学力向上支援サポート事業	朝日中学校において、大学との連携・協力のもと大学生の教員志望者や教員OBを「学習サポーター」として活用する学習活動サポート事業を実施し、学習相談やつまずきの解消、学習意欲の向上を図りました。 ◆学習サポーター：7名、延べ236時間	622
	適応指導教室運営事業	教育センター内にある適応指導教室「あすなろ」に指導員を1名配置し、不登校児童生徒に対し、適切な指導及び助言を行いました。	991
④	児童生徒・教職員健康管理事業	小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査、小学校5年生及び中学校1年生を対象に専門医による脊柱側弯症検診を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。また、教職員に対し、成人病検診及びストレスチェックを実施しました。	小：2,070 中：1,417
	スクールガードリーダー配置事業	警察官OBに委嘱し、各小学校を巡回し、安全対策の指導や不審者のパトロールを行いました。	92
⑤	教育センター運営事業	教職員研修、教材の開発、学習活動研修等を実施した他、保護者からの教育相談（4件）にも当たりました。	5,603
	内地留学派遣事業	さみさと小学校教諭1名を3箇月間大学に派遣しました。	216

■成果と課題

- ① 令和3年度は、小中学校の1人1台タブレット端末の活用をはじめ、電子黒板の導入及び活用、ICT支援員の拡充を行うなど、ICT教育の推進に努めました。
スクールバスについては、通年のスクールバスのほかに冬期のスクールバスの運行を行い、登下校時の安全確保に努めました。なお、冬期バス運行を1ヶ月早め、10月から開始しました。
- ② 教育機会の確保を図るため、準要保護や特別支援教育を受ける児童生徒の就学への援助や奨励を行うとともに奨学金制度の周知と適正な運用を行い、地域を担う人材の育成に努めました。
子どもの心身の健全な育成を図るため、体操服購入に係る支援をはじめ、朝日中学校に通う生徒の給食費無償化、さらには、新型コロナウイルス感染症拡大により、経済的負担が増したことから、昨年度に引き続き、町内の小学校に通う児童の給食費について無償化を継続し、また準要保護の対象となる児童生徒の割合が増えていることから、子育て世帯の負担軽減に努めました。
- ③ 校区の特徴や地域の伝統文化を生かすなど、特色ある学校づくりを目指し、地域の人材を講師に招きクラブ活動を充実させたほか、生活科授業や性指導のゲストティーチャーを依頼するなど、総合的な学習の時間や道徳の時間の充実を図りました。今後も郷土を愛する児童生徒の育成のためにも地域人材の方々との連携事業が必要です。
学力向上市町村教育委員会プラン研究委託事業では「確かな学力」育成のための実践研究と当プログラムの検証改善を推進し、その成果と普及を図りました。学力向上のため今後も継続して実践研究を図る必要があります。

理科の授業や実験の準備を行う観察実験アシスタントを小学校へ派遣し、理科教育における観察や実験の充実に努めました。

小学校の外国語活動においては、外国語指導助手（ALT）や非常勤講師として委嘱した英語指導員から「聞く・話す」を中心に英語を使ってコミュニケーションを図ることの楽しさを知るとともに、言語や文化に慣れ親しむ学習の充実に努めました。

保小中一貫教育及びコミュニティ・スクールと地域学校協働活動について、令和3年10月の総合教育会議で提案され、令和4年度から「朝日町保小中一貫教育」、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」をスタートすることになりました。

スタディ・メイト配置事業では、特別な支援が必要な児童生徒への教育体制を整備し、個々の実態に応じた適切な教育を推進しました。学校からの配置要望も多いため、今後もスタディ・メイトの人材の確保と育成を図る必要があります。

適応指導教室運営事業においては、不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対し適切な指導及び助言を行うことを目的として、教育センター内にある適応指導教室「あすなろ」に指導員を配置し、児童生徒の学校復帰への支援を行えるよう努めました。

学力向上支援サポート事業においては、教員を志望している大学生や教員OBを学習サポーターとして活用し、中学校において生徒の学習上のつまずきの解消や学習意欲の向上を目的とした学習支援を行いました。

- ④ 小・中学校の1年生を対象に心電図による心臓検診、中学生に貧血検査を実施し、児童生徒の健康保持に努めました。特に、心疾患等が疑われる児童生徒に対しては、全教職員がこれらの情報を共有し、安全に学校生活を送られるよう努めました。また、児童生徒及び教職員に対し、麻しんの罹患歴や予防接種歴の調査を行い、把握に努めました。さらに、小学校5年生と中学校1年生を対象に専門医による脊柱側湾症検診を引き続き実施し、専門医による詳細な検診の実施により、脊柱側湾症疑いの早期発見に努めました。29年度からは、教職員ストレスチェックを実施し、教職員のメンタルヘルス不調の予防に努めました。

養護教諭が行事や出張等で不在の時には、応急処置の対応及び指導ができる臨時職員を今年度も派遣し、児童生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう努めました。

食物アレルギーについては、就学時健診の機会や進級時に調査票等で実態把握に努め、学校給食で配慮が必要な児童生徒については、保護者と個別面談を実施し、児童生徒の症状やアドレナリン自己注射薬（エピペン）保持の状況、給食対応の内容等の情報の共通認識に努め、除去食や代替食の対応を行いました。また、緊急時の対応に備え、消防機関等と情報を共有し連携を図りました。

学校においては、施設設備の安全点検、通学を含めた学校生活や日常生活における安全指導、職員の研修などを実施しました。危機管理マニュアルの内容確認を行うとともに児童生徒には日々の生活の中で危険を予測して、安全な行動がとれるように危険回避能力の育成を継続的に行う必要があります。

犯罪等の危険から児童生徒を守るため「こども110番」の家の周知や、スクールガードリーダーによる巡回を行うとともに、不審者情報等については、安全情報メールを保護者に通知するなど安全で安心できる環境づくりに努めました。

- ⑤ 郷土を愛する児童生徒の育成のため郷土の自然文化や社会など地域に根ざした教育を進める研修に努めました。児童生徒の実態や地域の特色を踏まえた校内研修や、実践的な指導力を高める研修の継続が必要です。

教員の資質の向上については、教員一人ひとりが使命感や倫理観、人間性を高め

るとともに県や関係機関と連携を図りながら研修等を実施し、教師の質の向上を図っていく必要があります。

III 生涯学習

■施策目標

町民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るため、その生涯にわたって生きがいや健康の保持・増進、生活の質的向上を目指す積極的な学習活動を支援し、自主的な学習への意欲を喚起する。

1. 生涯学習の推進

■取組み概要

- ①学校教育との連携
- ②生涯学習団体の育成と連携
- ③生涯学習施設・環境の充実

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	JFA「夢の教室」	子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に日本サッカー協会の協力を得て、こころのプロジェクト「夢の教室」事業を11月2、4日に、元プロサッカー選手の戸川健太氏とラクロス日本代表選手の細梅志保美氏を講師に、オンラインで結び実施しました。 ◆実施学校等：さみさと小学校5年生1クラス あさひ野小学校5年生1クラス 朝日中学校2年生2クラス	310
	学校への図書司書の派遣	小・中学校で必要な本の選書、台帳整理のほか、児童・生徒から質問等に対応するなど、読書に親しむ環境づくりのために、各小学校にそれぞれ週2日・中学校へ週1日、図書司書を派遣しました。	1,892
②	生涯学習支援事業	少子高齢化の進展やライフスタイルが多様化する中で、心のゆとりと自己の充実を図り、豊かな生活の実現のため、各種の講座・教室を行いました。 ◆公民館講座 8地区 1,011千円 ◆公民館シニア知的生活教室 8地区 317千円 ◆町民講座 26千円	1,354
③	早稲の香俳句会事業	社会の変化に主体的に対応できる個性豊かな人づくりを図るため、学校教育と生涯学習の連携を推進する事業として、「早稲の香俳句会」を実施しました。 俳句会では、実行委員が講師となり、小学校で俳句の授業を行う「出前講座」や、奥の細道の名句を20句覚える「暗誦運動」の取組みを行いました。 また、町に縁のある芭蕉に因んで小学生、中学生、高校生、一般から俳句を募集しました。 ◆投句数：573句	181

④	一般図書、児童図書の整備	昨年に引き続き、一般図書、児童図書の整備を実施しました。 ◆年間図書館来館者数 55,224人（前年 50,231人） ・図書購入 1,960冊 ◆保有図書数 127,854冊	4,217
---	--------------	---	-------

■成果と課題

- ① JFA「夢の教室」については、子どもたちに、「夢を持つこと」の大切さを伝え、「仲間を尊重すること」の意味を感じてもらい、「フェアプレー精神」の真の意味を理解してもらうことを目的に、日本サッカー協会の協力を得て、元プロサッカー選手の戸川健太氏とラクロス日本代表選手の細梅志保美氏を講師に、東京のJFA事務所と小・中学校をオンラインで結び実施しました。子どもたちが心豊かに成長していくよい機会となっており今後とも事業を継続していきます。
 学校における図書司書の配置については、各小学校にそれぞれ週2日・中学校に週1日派遣し、本の選書、図書台帳の整理、本の修理を行うとともに、生徒からの質問に対応したことにより、それぞれの学校において図書館を利用する児童・生徒が増えました。また、小学校では読み聞かせを実施しており、引き続き、図書に親しむ環境づくりに努めたいと考えています。
- ② 町の委託事業である公民館講座、公民館シニア知的生活教室については、各地区公民館において、開催されました。今後とも地域住民の学習ニーズや地域の実情に応じた講座や教室が行なわれるよう各地区公民館と連携していきたいと考えています。
- ③ 「早稲の香俳句会」については、俳句を通じて地域の歴史に親しみ個性豊かな人づくりの機会となっております。今後とも、子どもたちの俳句への興味が増すように、趣向を凝らした事業の展開を図っていきます。
- ④ 平成29年度に開始した読書通帳サービスは、読書記録として活用され、読書意欲向上に繋がっています。また平成30年度に開設したまつくら文庫は「子どもたちの健全な育成と成長のために」という、松倉利喜氏のご意志を基に、絵本や児童書を中心に、中高生向けのヤングアダルト図書、子育てを行う保護者のための育児書等をこれまでに1,000冊以上を配架しました。この文庫は通常利用のほか、町内小中学校にも団体貸出されています。今後も利用者の要望に沿った図書の整備や住民へのPRを工夫し、利用の拡大を図っていきます。

2 家庭・青少年教育の充実

■取組み概要

- ①学習機会の提供
- ②世代間交流の促進
- ③青少年の健全育成の促進
- ④生涯学習団体との連携

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	家庭教育に関する学習会	※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。	-
②	三世代交流事業	※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。	-
③	成人式	満20歳を迎えた青年が大人になったことを自覚するとともに、希望に燃える門出となるよう成人式を挙行了ました。 ◆成人者数：117名 ◆参加者数：95名	604
	有害図書等の立入調査 (住民・子ども課主管)	有害図書等・有害情報への対応として、年に1回、警察等関係団体とコンビニエンスストア、書店・DVD等レンタル店、携帯電話販売店に立入調査を実施しました。	-
	青少年育成朝日町民会議 (住民・子ども課主管)	町内における青少年の健全育成のため、育成支援に対する啓発活動や、学校の休業日における、非行を防止するため巡回活動に取組みました。 6月 全体会議(書面表決) 夏休み・冬休み・春休み巡回、強調月間(11月)巡回 11月 街頭啓発活動	-
	朝日町「社会を明るくする運動」推進委員会 (住民・子ども課主管)	犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くための活動を「社会を明るくする運動」推進委員会を中心に実施しました。 7月 研修大会 内閣総理大臣メッセージ伝達 泊駅、「アスカ」街頭宣伝	-

■成果と課題

- ① 家庭教育に関する学習については、※「I 家庭・地域教育」の「①家庭・地域教育」に記載。
- ② 三世代交流事業については、※「I 家庭・地域教育」の「②地域活動への参加」に記載。
- ③ 「成人式」は、新成人者から運営委員を募り、企画・運営から式典まで携わっていることもあり、厳粛に行われています。今後も新成人者と連携し、青年の新しい人生の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促す成人式を実施していきます。

青少年の健全育成については、健全な成長を阻害する有害図書・有害情報等への

対応、若年齢層の薬物使用などが全国的に問題となっており、こうした青少年を取り巻く社会環境を整備するため関係課局や諸団体と連携し健全な青少年の育成に努めます。

3 男女共同参画社会の促進

■取組み概要

- ①男女平等意識の啓発 5
- ②家庭・地域への男女共同参画の推進
- ③参画のための社会環境整備

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	男女共同参画社会づくり推進事業	<p>男女の役割を固定的に捉える役割分担意識を解消するための啓発・普及活動として、富山県男女共同参画推進員朝日町連絡会と共催し、男女共同参画社会の実現に向け、広く町民の理解を深めるとともに、地域における男女共同参画について考えるきっかけづくりを目的とした各種講座を開催しました。</p> <p>◆講座回数 1回(地域防災力アップテキストの活用について)</p> <p>◆参加者数 9人</p>	5
② ③	富山県男女共同参画推進員朝日町連絡会にて推進員の育成	<p>男女が家事・育児・介護などを共に担う家庭内での共同参画を進めるとともに、地域においても男女が等しく意見を出し合い取り組む活動を推進するため、家庭や地域における実践的活動の中心となるよう、富山県男女共同参画推進員の育成を図りました。</p> <p>定例会等 10回</p> <p>広報誌「チャレンジ」の発行 1回</p>	—

■成果と課題

- ① 令和3年度は、外部から講師を招き、男女共同参画の考え方を活かした地域防災についての勉強会を実施しました。
- ② 男女共同参画についてより理解を深めていただくとともに、推進員の活動内容を広く知っていただくことを目的に、広報誌「チャレンジ」を一新し、男女共同参画の啓発・普及に努めました。
- ③ 女性の社会進出、少子・高齢化、家族形態や地域社会の多様化などが一層進み、社会を取り巻く環境は大きく変化をしています。しかしながら、男女共同参画のための社会環境については、依然として性別による役割分担意識が社会慣習の中で残っており、こうした状況に対応していくため、今後も継続して男女共同参画を推進する必要があります。男女がともに個性と能力を認め合う「男女共同参画社会」の実現には、事業者、関係機関・団体、行政、そして町民一人一人が、その必要性を理解し、連携・協力しつつ、積極的な取り組みを進めていくことが重要であること

から、意識、固定観念を把握し、町と町民、事業者等が一体となって取り組めるよう努めます。

IV スポーツ

■施策目標

健康スポーツの推進と子供のスポーツ活動や競技スポーツの充実を図るため、町民が継続的にスポーツに取り組める環境づくりに努め、総合型地域スポーツクラブの育成をはじめ、各種スポーツ団体の活動を支援する。

1 生涯スポーツ社会の実現

■取組み概要

- ①健康スポーツの推進
- ②スポーツ活動を支える指導者・組織の充実
- ③スポーツ情報の提供
- ④子供の体力向上
- ⑤地域と連携した部活動の在り方

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	地区体育大会(体育祭)開催補助	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	0
	三世代交流スポーツ事業	地域間・世代間のスポーツ交流の充実を図りました。 ◆三世代交流 4地区 425名	49
	町民大会等補助金	町民が積極的・主体的にスポーツに取り組む機会を確保するため、町体育協会にスポーツ大会事業を依頼しました。 ◆12種目 994名	788
	地域スポーツ教室開催	スポーツ推進委員による教室を開催し、スポーツに親しむ機会の充実を図りました。 ◆小中学生ビーチボール教室 実施なし ◆いきいきスポーツサロン1回 参加者延べ5名 ◆にこにこスポーツ広場8回 参加者延べ156名	90
	まめなけ!あさひスポーツデー開催	「体育の日」に町民が気軽に参加できるスポーツイベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	0
	スポーツ大会開催事業	全国ビーチボール競技大会及び翡翠カップビーチボール全国大会、全国学生ビーチボール交流大会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし ◆全国ビーチボール競技大会 実施なし ◆翡翠カップビーチボール全国大会 実施なし ◆全国学生ビーチボール交流大会 実施なし	134
	ビーチボール普及活動	県内外へビーチボールの普及活動 実施なし	0
②	スポーツ推進委員研修	地域のスポーツ指導者の育成・確保・活用を推進し、スポーツ推進委員の資質向上を図りました。	288
	スポーツ推進サポーター事業	スポーツサポーター登録制度を設け、スポーツを支える人材の発掘と育成を図りました。	5

③	スポーツ情報の提供	町のスポーツに関わる情報を広報あさひ及びケーブルTVを通じて伝えるとともに、スポーツ教室の情報をチラシの作成とともにHPに掲載しました。	—
④	子どもの体力向上推進事業	運動好きな子どもの育成と体力の向上を目指し、体育の授業「体づくり運動」に専門の講師を派遣するなどしました。 ◆学校体育活動サポート事業（小1～小4各クラス） ◆新体力テスト業者分析（小1～中3）中止	221
	スポーツ少年団・指導者の育成	スポーツに親しむ子供たちの育成のため、スポーツ少年団の組織、指導者の育成等の支援を行いました。 ◆スポーツ少年団 8団体 134名	100
⑤	朝日町型部活動コミュニティクラブ	朝日中学校部活動の一部を地域人材による地域クラブ活動へ移行するため、その活動を運営する朝日町型部活動コミュニティクラブの設立し、実施しました。	1,037

■成果と課題

- ① 地区体育大会（体育祭）は、町内10地区とも、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施されませんでした。三代交流スポーツ事業では、感染対策を行いながら、歩こう会やビーチボール教室、バトミントン教室などが実施され、幼児から高齢者まで、世代を超えた交流が深まり、一体感や活力のある地域づくりが推進されました。

「体育の日」に広く町民が参加できるスポーツイベントとして開催しておりました、『まめなけ！あさひスポーツデー』については、密な状況を避けられない種目が多いだけでなく、誰がどこから来るかわからないため、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高いことから、開催を中止といたしました。

また、全国ビーチボール競技大会、翡翠カップビーチボール全国大会、全国学生ビーチボール交流大会についても、チーム及び運営サイドの感染リスクを避けるため、安全を第一に考え、開催を中止といたしました。あわせて、ビーチボール普及活動についても中止といたしました。

子どもから大人までスポーツに親しむ機会や運動に取り組む習慣づくりをねらいとした、「にこにこスポーツ広場」については、新型コロナウイルス感染対策を講じながら、開催をいたしました。また、冬期間の運動の機会づくりとして「いきいきスポーツサロン」を開催するなど、地域スポーツ教室として年間8回のべ156名が参加しました。

スポーツが日常の生活に定着するよう、今後も各種イベントやスポーツ教室の開催、支援に努め、健康スポーツを推進します。

- ② 指導者の育成については、指導者の資質向上を図るとともに、新たな指導者の発掘に努め、研修の機会を設けるなど、スポーツの環境整備により努めます。
- ③ スポーツ情報については、広報あさひ、ケーブルテレビ、町HPを活用し、各種大会、スポーツ教室の開催案内を行っており、今後も住民の皆さんが興味・関心をもって主体的にスポーツ活動に取り組んでいただくように、情報発信の拡充に努めます。
- ④ 子供の体力向上については、運動好きな子どもの育成と体力の向上を目指し、小学校低・中学年の体育の授業において専門の講師を派遣し、体づくり運動を実施しました。また、平成30年度より町内の子供のスポーツ団体等に対し、体育施設利用料を無料とする支援を行い、積極的に体を動かすことができる環境づくりに努めました。
- ⑤ 少子化に伴い児童生徒が減少しており、今後も続くと考えられ、スポーツ少

年団活動や学校部活動の運営が難しい状況になってきている。朝日中学校では、生徒の部活動との多様な関わり方や教職員の超過勤務時間の削減を目指し、部活動の一部を地域人材による地域クラブ活動へ移行するため、関係機関とともに地域と連携した部活その活動を運営する朝日町型部活動コミュニティクラブの設立し、部活動の一部を地域クラブ活動として実施しました。

2 競技スポーツの推進。

■取組み概要

- ①ジュニア指導・選手の育成
- ②組織の育成

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	各種全国大会などの出場選手の派遣奨励	全国大会等出場者に激励金の支給や激励横断幕の掲揚をし、積極的に派遣奨励を行いました。 ◆全国大会等出場選手 10名	135
	青少年競技力向上支援事業	青少年の競技力向上を目指す事業への支援を行いました。 ◆1団体	39
	大学合宿招聘事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施なし	0
②	スポーツ大会等の後援	競技力向上に向け、各種競技大会の後援を積極的に行いました。 ◆後援申請承認数 14事業	-
	町体育協会活動補助金	競技スポーツ団体育成のため町体育協会組織強化のための支援を行いました。	90

■成果と課題

- ① 競技力向上に向け、「町青少年競技力向上支援事業補助金」制度を活用し、朝日中学校にて朝日中学校運動部活動講習会の開催支援を行いました。今後もニーズに応じた講習会や教室等を開催、支援し、優秀選手の育成・強化に努めていきます。
さらに町体育協会、競技団体との連携をより強化し、積極的に大会の開催・誘致の支援を行い、これまで以上に小・中学生を中心に競技力向上への意欲を高めます。
- ② 町内で開催される各種スポーツ大会の後援及び町体育協会への活動補助を行い組織の育成を図りました。

3 スポーツ環境の整備

■取組み概要

- ①拠点施設の整備・拡充
- ②総合型地域スポーツクラブなどの支援

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	体育施設管理事業	朝日町文化体育センター第2体育館南側カーテンウォール改修工事やオートキャンプ場の管理棟コインシャワーユニット交換工事などを行いました。 ◆サンリーナ施設利用者数 66,755名 ◆パークゴルフ場利用者数 19,537名 ◆キャンプ場利用者数 6,045名 ◆まちなか体育館利用者数 4,206名 ◆小丸山グラウンド利用者 60名	48,915
	学校体育施設開放事業	小学校2校、中学校1校において学校体育施設開放事業を行い、利用促進を図りました。 ◆15団体利用 ◆利用数：延べ323回 延べ5,016名	729
②	スポーツクラブ・サークル活動の支援(ひすいスポーツクラブ)	町民がいつでも、どこでも、体力やそれぞれのニーズに応じてスポーツに親しむことができるよう総合型地域スポーツクラブへ事業委託するなどの支援を行いました。 ◆子どもの運動能力向上事業(キッズ&ジュニアコアトレーニング教室) 28回 429人 町内で活動するスポーツサークルなどをイベントや広報において紹介しました。	333

■成果と課題

- ① 体育施設をより安全で快適に利用していただけるよう計画的に老朽化した設備について更新工事を実施しました。小丸山グラウンドにおいては、定期的にグラウンド整地及び除草を実施し、利用者の拡大に努めていきます。

朝日まちなか体育館は、スポーツ施設としての利用だけでなく、公民館事業での活用や、周辺施設と連携した事業等によるまちなかの活性化を目指し、町民が利用しやすい施設づくりに努めていきます。

学校体育施設開放事業は、それぞれ学校体育施設において町民の利用促進を図っています。学校開放の利用者は地区のスポーツ愛好者グループやスポーツ少年団などの団体で、さみさと小学校は11団体、あさひ野小学校は2団体、朝日中学校は2団体が利用されました。今後とも、引き続き学校や利用団体との連絡体制を保持

し、町民が利用しやすい環境づくりに努めます。

- ② ひすいスポーツクラブでは、町民が手軽にスポーツに親しむことができる教室や事業を実施しています。クラブへの toto 助成や町の補助金が終了し、子供向けの教室が減少傾向にあることから「子どもの体力向上」をめざす教室開催を委託し、支援しています。

今後も町民のスポーツニーズを把握するように努め、子どもから大人までの全世代における生涯スポーツの機会となるような取り組みの実施が図られるようクラブの教室や事業運営等に、適切な支援・助言をします。

V 文化

■施策目標

人々の価値観が物の豊かさから心の豊かさへ変化している中、町民の芸術・文化活動の振興や支援を行い、文化の香り高い町づくりを進める。

1 芸術・文化施設の活用と充実

■取組み概要

- ①文化体育センター・生涯学習館・ふるさと美術館の活用
- ②美術作品の収集
- ③不動堂周辺施設再生構想

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	芸術・文化施設の活用	生涯学習館 詩吟や大正琴、オカリナサークルなど芸術・文化活動の場となっています。 ◆利用者数 612人 ふるさと美術館 郷土出身の芸術家の作品をはじめとして、郷土にゆかりの深い芸術を中心に、優れた美術作品を紹介しています。 ◆観覧者数 2,919人	11,535
	常設展・企画展・特別展	芸術文化の拠点であるふるさと美術館では、館蔵展、企画展、郷土作家展等を開催して町民の芸術鑑賞機会の充実を図りました。 ◆館蔵品企画展 「版画の虜」展 4/16～5/23 ◆郷土作家企画展 「東の巴人、西の志功」展 6/4～7/11 ◆特別展 向井康子 絵画展 7/23～11/23 ◆館蔵品企画展 美術館の動植物図鑑展 12/1～12/26 ◆ふるさと美術館に年賀状を送ろう展 1/22～2/6 ◆郷土作家展 澤田昭英展 2/11～3/27	5,000
②	美術作品の収集	次の作品 328点の寄贈がありました。 ・岩崎巴人 水墨画 4点 ・岩井幸子 木版 41点 ・大平山濤 掛軸 1点 ・向井康子 絵画 282点	—
③	不動堂周辺施設再生構想	不動堂周辺施設において、美術散策と歴史めぐりゾーンを形成するため、新美術館改修工事の実施設計業務を行いました。	13,200

■成果と課題

- ① 文化施設の活用については、ふるさと美術館では、町内の保育所園児や小・中学生に年間を通じて同伴者1名も無料で美術館に来館できる「子どもパスポート事業」を実施し、観覧者数を増やすことに努めました。

今後も、地域に密着した施設としての活用を図ることが必要であり、文化・芸術の振興を推し進めるためにも、より一層の充実を図っていきます。

- ② 芸術振興の充実のため、郷土ゆかりの作家などの作品収集に努めるとともに、収蔵品の適正な管理に努めます。

- ③ 「なないろKAN」や「まいぶんKAN」などの不動堂周辺施設において、美術散策と歴史めぐりゾーンを形成するため、新美術館改修工事の実施設業務を行いました。

今後、現在のふるさと美術館をなないろKANに移転し、ふるさと美術館は美術品、生涯学習館は境A遺跡出土品の収蔵庫等に活用し、不動堂周辺施設において、美術散策と歴史めぐりゾーンを形成し、集客と情報発信を図ることに努めます。

2 芸術・文化活動の促進

■取組み概要

- ① 芸術・文化サークル・団体の育成
- ② 講座・美術展の開催
- ③ 芸術・文化情報の提供

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	朝日町美術展	町の芸術・文化の活性化を図るために、公募による第38回美術展及び小・中学校美術展をアゼリアホールで開催しました。 ◆10月30日～11月3日(5日間) ◆部門 「絵画」「写真」「書」「彫刻・工芸・デザイン」 ◆出品数 100点 ◆入場者数 1,703人	1,287
②	講演会・美術展等の後援	芸術団体等の講演会・美術展等の後援を行いました。 ◆後援申請承認数 20事業	—
③	芸術・文化情報の提供	町の芸術・文化に関わる情報を広報あさひ、チラシ等にて行っています。	—

■成果と課題

- ①② 文化の香り高い町の実現のためには、町内の文化サークル・団体の活動を積極的に支援することが大切です。42回目となる朝日町美術展は2年ぶりに開催し、100点の出品、1,703名の来場者がありました。また、小・中学校美術展を同時開催し、連帯化を図りました。

- ③ 町の芸術・文化情報については、マスコミや広報あさひ、ケーブルテレビなどを活用し開催の周知を図っており、今後も芸術・文化情報を提供していきます。

3 文化の保護と活用

■取組み概要

- ①埋蔵文化財などの公開と施設整備の充実
- ②文化財の調査・研究・保護・継承
- ③文化財の保存・活用

■主な事業実施状況

番号	施策又は事業名	事業内容等	決算額(千円)
①	埋蔵文化財保存活用施設運営事業	朝日町埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」では、朝日町で出土した土器、石器や農山漁村で使用された民具、下山新遺跡、境A遺跡、柳田遺跡等で出土した遺物の常設展示や、各種イベントを開催するとともに、通常体験として、勾玉作り・火起し、錫アクセサリーなどの体験教室を行いました。 ◆観覧者数 1,307人	8,260
②	文化財の管理・保護	文化財の管理・保護事業として次の事業を実施しました。 ・指定文化財所有者への文化財保護管理交付金の交付 29件 ・指定史跡の草刈、清掃 ・不動堂遺跡管理 復元住居建物薫蒸、周辺立木剪定、芝刈り等 ・境A遺跡出土品の返還 ・宮崎鹿島樹叢折損木処理 ・町指定文化財「鹿嶋神社社拝殿と組物及び彫刻」における屋根修繕	5,287
	文化財の調査	・試掘等調査	43

■成果と課題

- ① 埋蔵文化財保存活用施設「まいぶんKAN」運営については、常設展示のほか、おかえりなさい境A遺跡展などの企画展を行いました。また、イベントとして境A遺跡講演会やノルディックウォークで遺跡めぐりなどを開催したほか通常体験として勾玉づくり、火起こしなどの古代体験を年間通じて実施し、利用者の増加に努めました。
今後も、新たな企画展や体験メニューを企画するなど内容の充実を図るとともに、広報やホームページなどを通して情報提供を盛んにして、利用者の増加に努めていきます。
- ② 文化財の管理・保護については、町指定文化財保護交付金の交付、不動堂遺跡公園の保全・修繕などを実施しました。また、35年前に発掘され、県が保有していた「境A遺跡出土品」を町へ譲与することになり、今後、より多くの町民に境A遺跡を知ってもらい、ふるさとへの愛着を育んでもらうよう務めていきます。

4 学識経験者意見

○ 家庭・地域教育

- ・子どもたちの放課後や土日の安全・安心な居場所づくりに向けて、地域と一体になって進められていくことは、良い取り組みだと思う。
- ・コロナ禍の影響により、とやま親学び講座が実施されていないのは残念である。親同士子育てについて意見を交わすよい機会であると思われるので、実施されるよう努めて頂きたい。

○ 学校教育

- ・「ICT教育の推進」、「保小中一貫教育」、「コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進」について、先進的に取り組みがなされている。小さい町での大きな挑戦であり、コンパクトな町だから取り組みが進められる利点を活かしていると思う。
- ・学力向上支援サポート配置事業は、教育格差の改善にもつながる非常によい取り組みであると思う。また、このサポート人材として、大学生の配置が功を奏している。教員OBの高齢化など確保が困難となる状況の改善や、また、年齢の近い者からの支援を受けることで、受け側の生徒もコミュニケーションが図り易い利点があると思う。
- ・スクールバス運行事業、給食費の無償化、体操服の支援事業、スタディ・メイト配置事業などの取り組みは、子育てを行う環境面で、非常に充実している。
- ・コロナ禍で会話をしてはいけないという環境があっただけでなく、生徒たちの挨拶が今までになく低調である。学校教育におけるIT化など、他市町村に先駆けて教育改革が進められていることは大変良いことであるが、挨拶や清掃といった人間性を育てる教育がおろそかにならないようにして頂きたい。

○ 生涯学習

- ・図書館の整備や公民館活動が活発に行われるような支援が実施されている。

○ スポーツ

- ・朝日町は、生涯にわたってスポーツが楽しめるよう施設面、指導者等が充実している。
- ・ビーチボール競技発祥の地 朝日町として、ビーチボールの普及推進を図って欲しい。いつでもどこでもだれでも気軽に取組める競技であり、初心者が楽しめる大会等の実施を検討して頂きたい。
- ・コロナ禍で、3年間、全国ビーチボール競技大会、翡翠カップビーチボール大会の開催が中止となっており、非常に残念である。今後、コロナ感染対策を講じ、実施をして頂きたい。
- ・コロナ禍の影響で、人々の生活形態が変容したのか、スポーツ離れが進んでいるように感じる。また、コミュニケーションを図るのが困難な状況にあり、スポーツ推進員の活動などの社会活動への積極的な協力が得られない状況にあることから、スポーツが親しめる、またスポーツ関係者の積極的参加協力が得られるような取り組みが必要だと感じる。
- ・朝日町型部活動コミュニティクラブ実施については、子どもの少子化や教員の負担などの背景がある中、地域の指導者の協力のもと、この取り組みが進められていることは、非常によいと考える。今後、この取り組みが継続的に実施されるよう、指導者の確保などに努めて頂きたい。

○ 文化

- ・新美術館完成に伴う、その周辺（ふるさとゾーン）の一層の充実を図りたい。

○ その他

- ・指導者の地域人材については、スポーツ関係だけではなく、全ての分野において、若い世代の人材発掘や育成などの課題があるといえる。